

第3回関西支部研修会 「All-on-4」即時荷重について

講師：中村 社綱

日時：平成21年6月14日(日)

場所：大阪・梅田

山内 健司 (滋賀県)



平成21年6月14日 大阪の梅田にて、CISJ関西支部の今年3回目となる研修会が行なわれましたので、その報告を致します。

今回は中村社綱先生をお招きして、「All-on-4」即時荷重についてご講義いただきました。

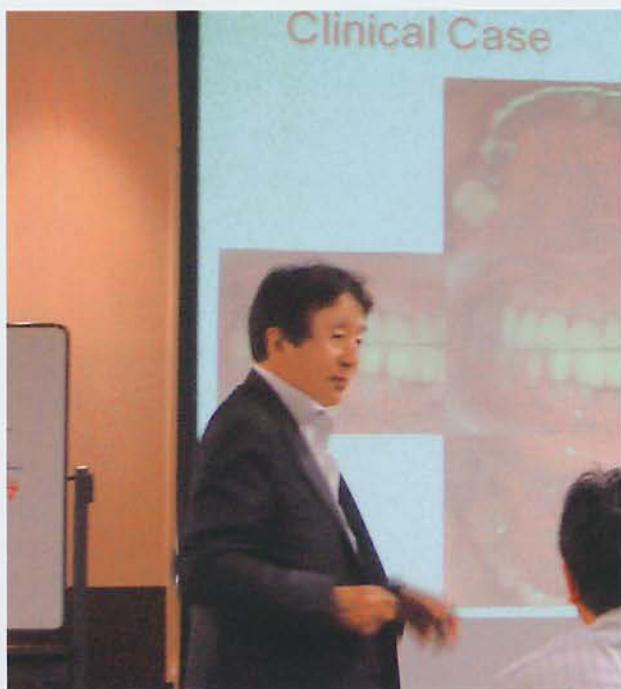
All-on-4は、ポルトガルのマロ先生によって開発されたインプラントシステムで、骨吸収の著しいケースでも、利用可能な骨を最大限に活用し、即時負荷を実現可能にしました。

中村先生の講義に、最近の治療では、できる限り外科的な侵襲を少なくし、患者様の負担を減らすのが目的であるとありました。確かに、今までの治療ではGBRやサイナスなどの、患者様には色々な意味で負担の大きい治療が、Dr主体で行なわれてき

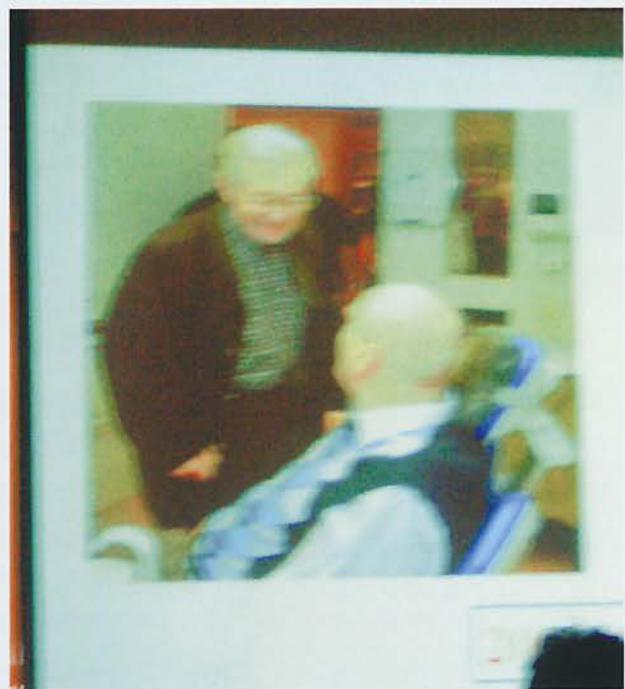
たように思います。

インプラント治療がより多くの患者様に受け入れられる為に、治療が快適であること、さらには治療期間が短いことは、今後の大きな課題となってくることでしょう。

また、講義の中で、ブローネマルク先生が最初にインプラントを埋入した患者様を治療している写真を拝見できました。どちらもご高齢でしたが、インプラントを通じて40年近くも歯科医師と患者の信頼関係が続くというのは、実に興味深いものでした。この研修を通して学んだことを生かして、多くの患者様により快適なインプラント治療を提供できたらと思いました。



講義中の中村社綱先生



ブローネマルク先生と最初のインプラント埋入患者